

## 吾妻山の火山活動解説資料（平成 23 年 8 月）

仙台管区気象台  
火山監視・情報センター

大穴火口の噴気活動はやや高い状態が続いています。大穴火口では、夜間に明るく見える現象を観測しました。火山性地震はやや少ない状況で経過しました。

地殻変動に特段の変化はなく、ただちに火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。引き続き、火口内では火山ガスの噴出がみられますので警戒が必要です。

平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況（図 2～4）

上野寺（大穴火口の東北東約 14km）に設置してある遠望カメラによる観測では、大穴火口（一切経山南側山腹）からの噴気の高さは、50～600m で経過し、噴気活動はやや高い状態が続いています。

大穴火口では、夜間に高感度カメラで明るく見える現象を毎日観測しました。この現象を観測した前後で火山性地震の増加はなく、噴煙の状況や空振計及び地殻変動データにも特段の変化はありませんでした。この現象は硫黄の燃焼による発光と考えられます。大穴火口が明るく見える現象は、2010 年 5 月及び 2011 年 3 月～7 月にも観測しています。

#### ・地震や微動の発生状況（図 5）

火山性地震は、やや少ない状況で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

#### ・地殻変動の状況（図 6、7）

GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

---

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 23 年 9 月分）は平成 23 年 10 月 6 日に発表する予定です。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。

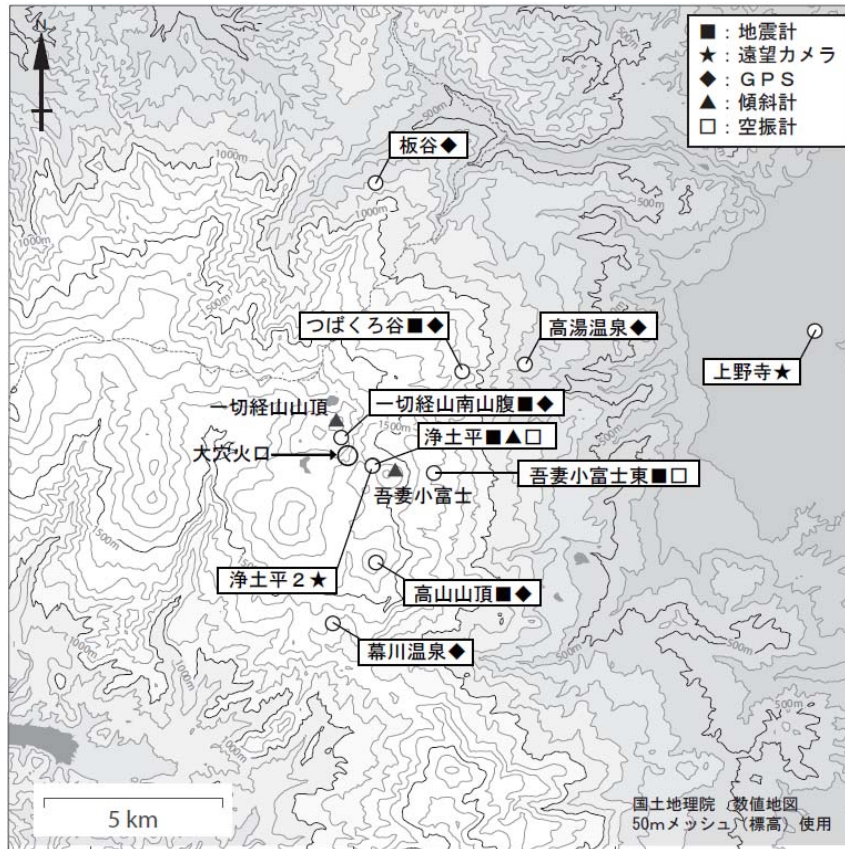


図1 吾妻山 観測点配置図

(小さな白丸は気象庁観測点位置を示しています。)

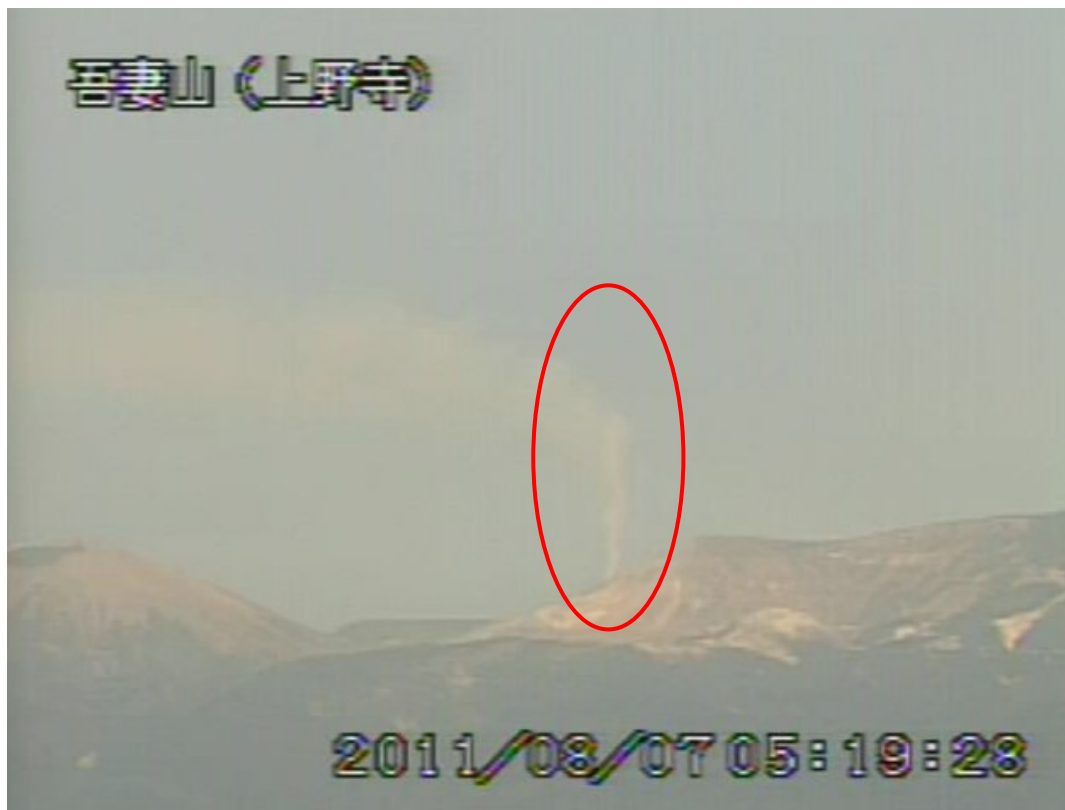


図2 吾妻山 大穴火口からの噴気の状況（8月7日05時19分頃）

福島市上野寺（大穴火口から東北東約14km）に設置してある遠望カメラによる。赤色実線で囲んだのが、白色噴気で高さは600m。



図3 吾妻山 大穴火口が高感度カメラで明るく見える現象の状況  
(2011年8月26日01時44分頃)

福島市上野寺（大穴火口から東北東約14km）に設置してある遠望カメラによる。実線赤丸内の明るい部分が、夜間に高感度カメラで大穴火口が明るく見える現象です。この現象は硫黄の燃焼による発光と考えられます。

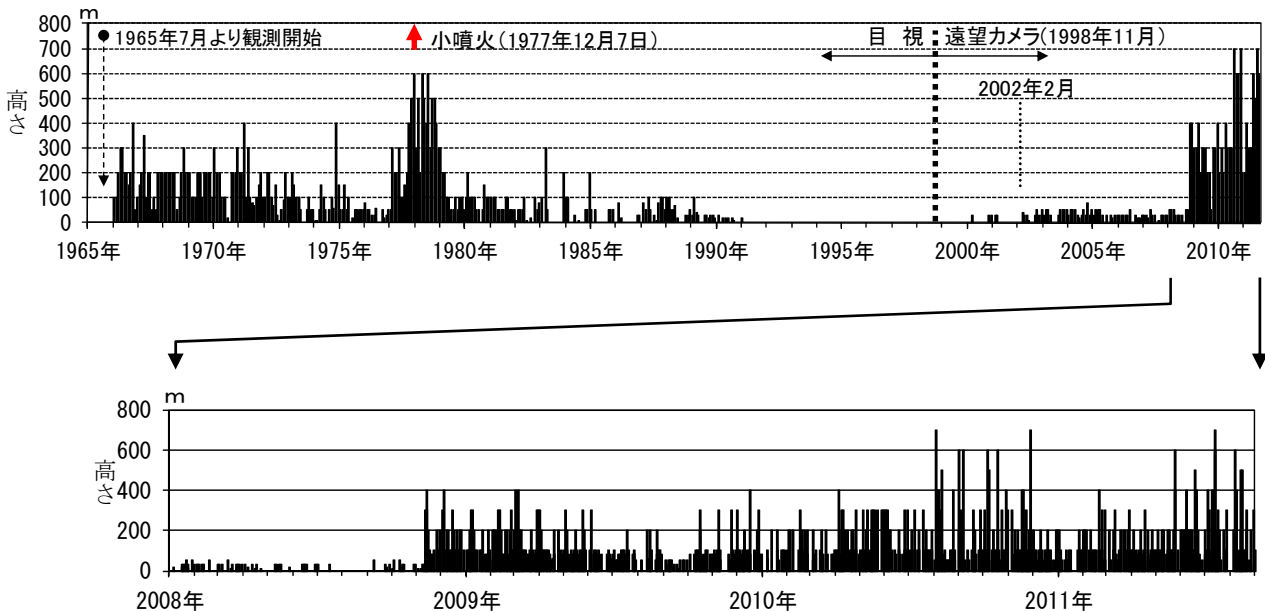


図4 吾妻山の噴気の高さ 上段：月別最大噴気（噴煙）高（1965年7月～2011年8月）  
下段：日別最大噴気高（2008年1月～2011年8月）

1998年以前は福島地方気象台（大穴火口の東北東約20km）からの目視観測です。

1998年から遠望カメラ（大穴火口の東北東約14km）による観測です。

2002年2月以前は定時（09時、15時）及び随時観測による高さです。

2002年2月以後は全ての時間で観測したデータによる高さです。

2010年8月3日、11月27日、2011年7月13日に一時的に700mを、2010年8月31日、9月5日、10月6日、10月18日、2011年5月24日、7月12日、8月6日、8月7日に一時的に600mを観測しました。

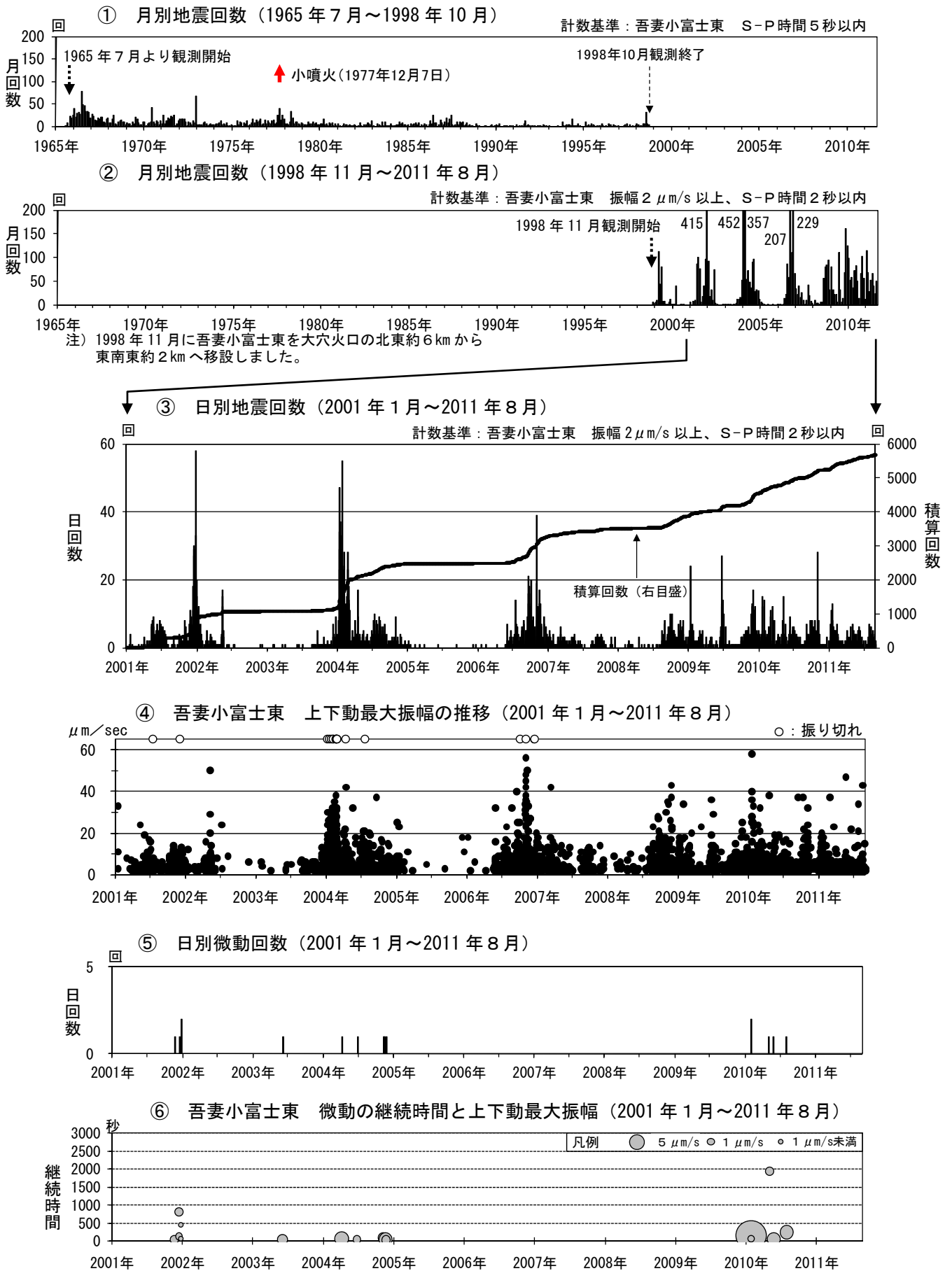


図5 吾妻山 地震活動経過図

・ 機器障害のため、2010年10月14～15日の日別地震回数は欠測です。

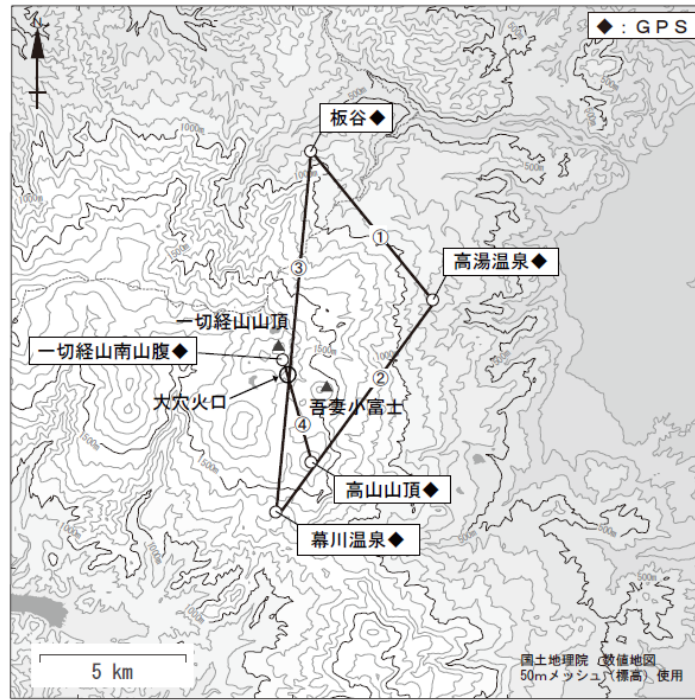


図6 吾妻山 GPS 観測点配置図

GPS 基線①～④は図7の①～④に対応しています。

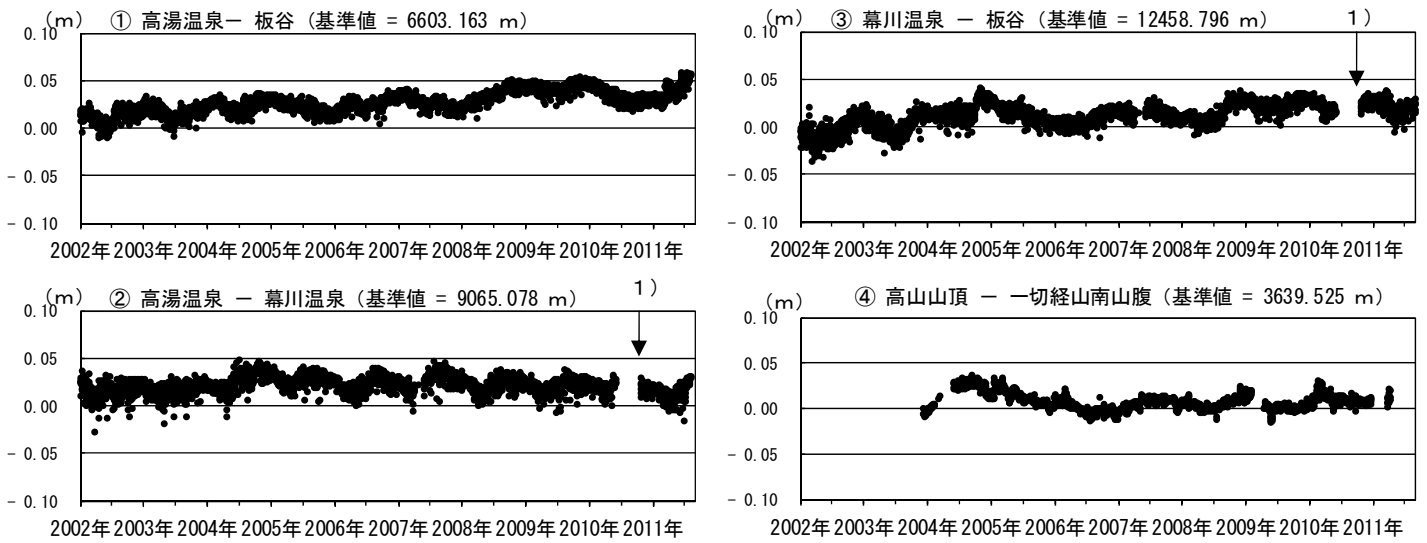


図7 吾妻山 GPS 基線長変化図（2002年1月～2011年8月）

①～④は図6のGPS基線①～④に対応しています。

グラフの空白部分は欠測を表しています。

1) 幕川温泉観測点の機器更新を行いました。